

平成28年度 今治市障害者作業所 施設指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市障害者作業所
所在地	今治市菊間町長坂2001番地
指定管理者	<p>名 称 特定非営利活動法人 作業所こまどり</p> <p>代表者 理事長 松田鈴美</p> <p>住 所 今治市菊間町長坂2001番地</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課 (問合せ先)	<p>健康福祉部 障がい福祉課</p> <p>TEL : 0898-36-1527</p> <p>E-mail : syougai Fukus@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	A	スタッフが少人数のため、目的や方針をしっかりと共有できている。	A	施設の設置目的や管理運営方針等を理解して運営しています。
利用状況	B	精神障害のある利用者・心身共に不調な利用者が2人、病院や他の施設のサービスを受けるため、皆勤は無理な状態である。 残りの利用者はほぼ皆勤となっている。	B	利用者一人ひとりの状況に応じて、細かな対応が行われています。しかし、利用者が長年にわたり固定化している状況が続いています。新規利用者が増えるよう検討をお願いします。
事業収支	A	自主事業による収入を得るとともに、支出が多い場合は保護者から寄付してもらうなどして、事業運営を安定して行っている。	A	収支は適正に処理されています。補助金のみならず、寄付金や作業収入により安定した事業運営がなされています。
管理運営体制	B	管理運営業務を実施するための人員を配置できている。また、商品開発のための講習会にも積極的に参加している。	B	人員配置は仕様書の基準に従って、適正に配置されています。作業によって利用者が作業できない部分については、有償ボランティアや職員が下準備や仕上げを行いながら進めています。外部の研修や講習会に積極的に参加し、障がい者の対応や制度に関する知識の向上に努めてください。
管理運営業務	A	清掃作業や日常点検など日頃より適切に行っている。	B	仕様書に定められた基準に従い対応していますが、清掃管理業務において施設内の清掃、備品や製品の整理整頓について配慮が必要です。日頃から心がけてください。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
利用業務	B	HPを作っては、とのアドバイスを外部から受けることもあるが、人手不足が原因で十分対応できていない所が反省点である。	B	利用促進につなげるため、店頭での展示販売や6回目を迎える毛刈り大会、地元のイベントへの参加など施設の存在を広める活動をしています。これらの活動はメディアや個人のSNSでも取り上げられ、高い宣伝効果を上げています。
その他業務	B	警報発令時には連絡や送迎を速やかに行い、利用者の安全確保に努めている。	B	各種マニュアルは整備されており、警報発令時には閉館や自宅への送迎など適切な対応ができています。また、災害発生への対応として、災害時の避難ではすぐに避難する、指示を聞くということが大切になります。避難訓練時にスリッパのまま避難させるということを何度も練習し、日頃より挨拶・返事を習慣づけることにより災害時の安否確認が速やかに行えるよう指導しています。
修繕業務	A	備品は日々点検しており、修繕箇所を発見次第速やかに対応している。	B	施設修繕について、建物が新しいため施設本体の修繕は発生していません。備品については古いものが多くなり破損頻度が増えています。職員で修繕可能なところは修繕するなど、維持管理は適切に行われています。
備品管理業務	B	備品は常に同じ場所へ戻すようにし、適切に管理をしている。	A	今年度は必要な備品がなかったため新規購入していません。備品の状態確認を含めた管理は適切に行われています。
行政財産の目的外使用許可 手続業務	—	対象外	—	該当なし
自主事業	A	羊の毛刈り大会や菊間夏祭り、清掃活動など地域と密着した独自の事業を展開できている。	A	利用者の健康状態に配慮し2か月ごとに健康診断を実施、突然のことに備えAED講習会も参加しています。羊の毛刈り大会は恒例行事としてメディアにも取り上げられ、障がい者との相互理解の役割を果たすとともに、人を楽しませる活動を自分たちができるのだと教える場でもあります。また、今治市より受託を受け小ヶ丸広場の清掃活動を行い社会貢献を果たしています。今後も各種の事業を展開し、地域、各種団体との連携に努めてください。
地域団体との連携	A	小学校へ講義に出向いたり、生徒を受け入れたりとお互いの交流を積極的に行った。また、自主事業でも地域団体との交流が十分なされている。	A	地域団体との連携について、地域の各種イベントに参加することで地域との交流を図っています。また、羊の毛刈り大会時には、市内の各事業所との協力により盛況となっています。医療機関との連携協力により利用者の健康管理が維持されています。作業内容により同業種の事業や視察、訪問などによる情報網が形成されています。
利用者アンケート	A	作業だけでなくいろいろな行事もあり、楽しみにしている等の意見が多かった。	B	アンケート結果は概ね良好です。ただ、直近のイベント等をアンケートで記入することもありますので、イベントごとにアンケートや聞き取り調査を行うなどし、潜在的な意見を引き出せるよう努めてください。
事故・苦情	A	意見や苦情を述べやすいよう日頃から利用者の保護者と話し合う場を設け、話しやすい雰囲気づくりに努めた。	A	警報発令時の連絡体制が構築されており、閉館や自宅への送迎など適切な対応ができています。事故や苦情なく事業に取り組んでいますので、今後も安全安心な事業展開をお願いします。
指定管理者の経営状態			貸借対照表、正味財産増減計算書については、法令及び定款に従い、適正に作成されていると認められました。指定管理者の経営状況については、財務諸表から割り出した経営分析指標において、特に気になる数値はなく、指定施設の管理を安定して行う物的能力を有していると認められました。	

## 総合コメント

平成23年度より、今治市地域活動支援センター運営事業補助金交付要綱による補助金を活用し運営されています。作業内容については、他の作業所では見られない独自の作業(羊毛、綿花の採取から製品加工、展示販売までの一連の流れ)を行うほか、藍染めや木工、織り、焼き物、タオルの袋詰め、公園清掃、羊の毛刈り大会を実施しています。市外、県外から問い合わせや視察、情報交換など作業所や障がい者団体との交流が図られており、注目できる点があります。利用者は固定されており、今後新規利用者の獲得が課題となっています。また、利用者の安全のため、作業のしやすい環境整備のため、日頃からの清掃、整理整頓について配慮が必要です。

## 指定管理者選定審議会による総合評価

評価点

選定審議会による評価